

今回のテーマ： 財務モデルにおける Control Account の重要性
はじめに

モデリングの世界では、「モデリングのベストプラクティス」という言葉をよく耳にすることでしょう。ユーザーフレンドリーなモデルを作成するために実施できるベストプラクティスのポイントについていくつかのガイドがありますが、では、その中で Control Account はどのような位置付けにあるのでしょうか。まず、Control Account とは何か、そしてその目的を理解する必要があります。Control Account は、ある期間における貸借対照表の各項目の動きを示しています。これは、貸借対照表が実際にバランスしていることを確認することを容易にしてくれます。

Control Account は実際どのように作成するか？

多くのベストプラクティスガイドにおいては、モデルを明確、単純、かつ透明にしておくことを推奨しています。貸借対照表の各項目については、Control Account を作成することで計算ステップを明確に区別し、透明性を高めることができます。典型的な Control Account は、下図のように、開始残高、変動額、期末残高の 4 行で構成されます。変動額は、現金の動きと損益の動きを表します。



Project Caribou

Calculations

All checks are OK

Sensitivities are ON

Period	1	2	3	4	5	6	7
Start date	01-Jan-21	01-Feb-21	01-Mar-21	01-Apr-21	01-May-21	01-Jun-21	01-Jul-21
End date	31-Jan-21	28-Feb-21	31-Mar-21	30-Apr-21	31-May-21	30-Jun-21	31-Jul-21

4.4 Total fixed assets

Fixed assets b/f	£ 000	-	622	640	635	658	680	688
Capital expenditure	£ 000	630	28	4	34	34	21	3
Depreciation charge	£ 000	(8)	(10)	(9)	(11)	(12)	(13)	(12)
Fixed assets cf	£ 000	622	640	635	658	680	688	679

この例では、2021 年 1 月の固定資産期首残高がゼロです（新会社とします）。開業初月に、資本的支出として £630k を投資しています。同時に、これらの固定資産に関連する減価償却費が発生します。この例では、減価償却費は初月に £8k です。これは損益として計上され、固定資産残高を減少させます。したがって、開始残高に 2 つの動きを加えると、その月の固定資産の期末残高は £622k となります。これが翌月の開始残高となり、以下同様に変動していきます。（上記例において b/f は、Bring Forward、c/f は、Carry Forward で、それぞれ開始・期末残高を指します。）

これにより、貸借対照表項目と、それに関連する損益およびキャッシュ・フローの動きを追跡することが可能となります。したがって、Control Account は、財務三表（貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書）がどのようにリンクしているかを明示することができます。上記の例では、この Control Account を使って、財務三表の各項目を作成することができます。上図初月に関して言えば、£630k がキャッシュ・フロー計算書の設備投資支出、£8k が損益計算書の減価償却費、£622k が貸借対照表の固定資産残高です。財務諸表がモデル内で統合されていることを確認することで、貸借対照表がバランスすることが保証されます。

Control Account 作成のポイント

以下、財務モデリングで Control Account を使用する際のポイントをいくつか示します。

- Control Account を作成することで、残高を計算するための長い複雑な数式を 1 つのセルに入力することを避けることができます。
- また、Control Account を使えば、残高を構成する主要因が何であるかがよくわかるようになります。上記の例では、固定資産増減の主要因は資本的支出でした。これは、特定の勘定科目で感応度分析を行う必要がある場合に重要となります。
- Control Account は、貸借対照表の項目を調整するための明確で透明性のある方法であり、損益計算書およびキャッシュ・フロー計算書とどのように統合されているかを示すものです。
- 財務三表がすべて連動し、統合されることで、貸借対照表を適切にバランスさせることができます。

おわりに

次回、バランスが取れないモデルを見たとき、またはゼロからモデルを構築しているとき、Control Account の利用を考えてみてください。そうすれば、後々、貸借対照表がなぜモデル内でバランスしないのか、その原因を突き止めるための時間を大幅に節約することができるはずです。

※本記事は、Grant Thornton UK LLP Financial Modelling team で作成したものに、弊社で翻訳・加筆したのになります。

英文記事の詳細は、[The importance of control accounts when building models | LinkedIn](#) を、ご参照下さい。

※ご参考 - [Financial modelling services | Grant Thornton](#)

以上